



輝け、新成人！

(1月8日 成人式)

平成23年度各会計補正予算・選挙管理委員会委員及び補充員の選挙・請願②

論点 Q&A そこが知りたい③

一般質問6人 ここが聞きたい④～⑨

子ども議会を終えての感想⑩～⑭

行政視察研修報告⑮

臨時議会⑯

12月定例会

12月定例会は、9日に開会し、13日までの実質3日間の審議を行った。案件は、字の区域の変更、平成23年度一般会計及び特別会計補正予算案件5件、甲佐町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について、その他の案件が上程され、全て原案どおり可決した。また、請願1件については、不採択となった。なお、一般質問には、6人の議員が登壇し、町政全般について質問した。

字の区域の変更について

大字吉田地内に飛び地となっていた「大字芝原字鷹場13番2」を「大字吉田字吉田第二」とする字の区域変更については、全会一致で可決した。

- ②乙女大沢水地区農免道路整備事業特別負担金 280万5000円
- ③橋りょう修繕委託料 4213万5000円
- ④町道改良舗装工事 576万円
- ⑤消防補償等組合負担金 1187万円
- ⑥甲佐町自主防災組織促進事業補助金 200万円
- ⑦中学校備品 519万円

平成23年度一般会計補正予算

1億4614万円を増額し、歳入歳出予算の総額を6億6179万1000円とする補正予算を賛成10、反対1で可決した。

国民健康保険特別会計補正予算

3953万9000円を増額し、歳入歳出予算の総額を1億9645万1000円とする補正予算を全会一致で可決した。

介護保険特別会計補正予算

27万3000円を増額し、歳入歳出予算の総額を12億4368万2000円とする補正予算を全会一致で可決した。

後期高齢者医療特別会計補正予算

9万6000円を増額し、歳入歳出予算の総額を1億3296万1000円とする補正予算を全会一致で可決した。

水道事業会計補正予算

営業費用を増額する補正予算を全会一致で可決した。

甲佐町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

定例会最終日に、指名推選の方法により、甲佐町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、次の方々が当選された。

- 委員
 - 甲佐地区 西村悦子
 - 竜野地区 成松光規
 - 乙女地区 坂本敬一
 - 白旗地区 中嶋敬介
- 補充員
 - 宮内地区 ①山本勝一
 - 白旗地区 ②岡部千秀
 - 甲佐地区 ③高濱有一
 - 乙女地区 ④日隈誠司

※番号は、補充の順序

「建設に働く仲間と地域経済を救うルールづくりの請願」

井芹しま子議員が紹介議員となり、熊本県建築労働組合宇城支部 執行委員長 梅勝彦氏から提出されたこの請願は、賛成1、反対10で不採択となった。

【要旨】

いま建設業界と地域経済は重大な危機に直面している。この地域に働く業者と労働者・職人の窮状を打開するために以下の2つの項目を陳情・請願する。

- 一 自治体の発注する工事は、地元業者へ優先的に発注し、地域の建設労働者・職人の雇用と就労を確保するよう努めること。
- 二 自治体が発注する公共工事において、公契約条例を制定し、生活保護水準を下回る現場労働者の賃金の現状を改善すること。

そこが知りたい! Q&A

SOKOGA SHIRITAI

12月定例会 質疑より

甲佐町無線システム普及支援事業とは

Q 無線システム普及支援事業費等補助金が予算化されているが内容の説明を。

A 平成23年7月24日よりテレビが地上デジタル放送に移行した。それに伴い新たに難視聴地区になった地域の難視聴解消を行う事業である。
今回は、北早川区の一部が新たに難視聴地区に指定されたので、共同受信施設を設置するものである。事業費の3分の2が国



共同受信施設が設置される北早川地区

庫補助金、残りを受益者及び町が負担する。

子ども手当システム改修委託料の内容は

Q 子ども手当の見直しがあつており、それに伴うシステムの改修費なのか。また、手当支給額等はどうか。

A 平成23年10月から法が改正されて子ども手当の額が変更されており、システム改修のための委託料である。手当額については、一



共同受信施設が設置される北早川地区

律月額一万三千円だったのが、改正後は三歳未満児が一万五千円、三歳以上小学校終了前第一子、第二子の子どもには一万円、第三子以降については各一万五千円、中学生には一万円に改正された。

学校の時間外警備委託料について

Q 甲佐中学校に時間外警備委託料が計上されているが、小学校四校はどうなっているか。

A 今回の中学校の時間外警備委託料

は、三月末に完成する管理棟の警備委託料である。小学校四校についてはすでに委託済みである。

自主防災組織促進事業補助金とは

Q 自主防災組織促進事業補助金とはどういう内容か。

A 熊本県では、東日本大震災を教訓に地域防災力の向上を図ることを目的に、自主防災組織の設立促進に資すると認められる事業を実施する市町村に補助金を交付するもので、新たに自主防災組織を設立した組織に補助を行う。

事業費の2分の1を補助するが、補助額は最高十万円以内である。(県五万円、町五万円)

ふるさと雇用再生特別基金事業の取り組み内容は

Q ふるさと雇用再生特別基金事業は

本年度で終わるがどんな取り組みをしたか。早川地区自主防災組織による炊き出し訓練



A 平成21年度から23年度にかけて3年実施した。事業内容は、農産物販売促進委託事業(ろくじ館)に二人、商工業活性化対策事業(商工会)に一人、産後継者支援事業(町産後継者育成対策協議会)に一人、地域見守りふれあい事業(有

限会社せせらぎ)に常勤一人、臨時一人ということでそれぞれの事業を委託して雇用再生を行った。

一般質問と答弁

～ここが聞きたい!～



緒方 哲哉 議員



住宅開発の成果は

緒方議員

住宅開発の件で、現在までの開発行為等の支援要綱に基づく承認団地及び定住促進要綱に基づく定住助成の実績についてお聞きしたい。

井上企画推進課長

承認団地として、早川の「サングリーンニュータウン」、田原の「森の住宅」、緑川団地、「芝原第一・第二」と平成11年から20年まで五つの団地、総区画数173区画が対象団地となっている。

定住助成の実績として、平成23年9月1日現在まで合計90件、承認団地68件、承認団地以外は22件である。

緒方議員

現在まで、定住政策等で助成や支援をされてきた総額をお聞きしたい。

井上企画推進課長

緑川団地の場合は町道建設の形で行ったという経緯はあるが、他の四団地へは4118万円の支援を行っている。

定住に関しては、承認

団地分が7640万円、承認団地以外が557万円、計の8197万円となっており、合計で1億2315万円の支援及び助成を行っている。

緒方議員

開発行為と定住助成で1億2000万円余りを投入しているが、その効果について伺いたい。

井上企画推進課長

昨年度の人口が39人の増、また、財政的な効果で見ると、固定資産税では年間の増収税額が約562万円、町民税では約234万円、地方交付税での財源増は610

0万円という計算となり、この試算によると2年間で取り返すということになる。

緒方議員

財政的にも大きな効果があったと理解するもので、今後も当然継続の必要があると考えている。

そこで、緑川団地のように、ある程度大規模な開発の計画について、町長にお伺いしたい。

奥名町長

町の活性化を図る上で有効な手段であると十分認識はしているが、現在町が事業主体となって大規模な区画整理を行うというようなことについては検討していない。

簡易水道について

緒方議員

宮内地区の飲料水供給施設の組合数、戸数、給水人口をお尋ねする。

一圓環境衛生課長

宮内には今13の組合があり、戸数は113戸、給水人口は235人という状況である。

緒方議員

この地区は、甲佐町の中でも特に高齢者の多い地区である。

また、水源まで行くのに1km以上離れた施設もたくさんある。しかも、湧水や濁水もかなり発生していると聞いている。

このような状況のなか、担当課としての考えを聞きたい。

一圓環境衛生課長

水源として、表流水、井戸、川などがあるが、一番問題になるのはやはり水質だと考える。

水質検査は定期的に実施をしているが、水質浄化については、ろ過機や滅菌機がない施設、修繕、取替えが必要な施設もある。

打出・川平給水施設の水源



大規模修繕の場合は、国や県等の補助事業の活用を考えていく。

緒方議員

宮内の中でも上揚地区と安平地区については、一昨年以上水道が完備された。

小鹿地区も安平からは遠くないし、まとまった集落であり、ぜひとも上水道の整備ができないか検討していただきたい。

奥名町長

事業を町が行う場合は、受益者負担も伴う。宮内地区については、給水人口と給水施設の数など専門的、技術的なことも勘案しながら、今後総合的に検討していきたい。

荒田 博 議員



近隣の町では、美里町と益城町に施設がある。山内社会教育課長

運動施設について

荒田議員

本町の体育館等において、機械を使って運動できるトレーニングルームのような施設はできないかお尋ねしたい。



運動施設の拡充を

総合体育館は計画していないが、トレーニングルームというかたちでは、いずれの場所かを検討しながらできるのではないかと思っている。

奥名町長

個人的には造ったほうがいいと以前から考えているところである。

競技の向上、体力づくりでの意味で施設活用もあるが、予防医療の観点で医療給付費が減っている

くことにもつなげるなら非常に有効な手段だろうと考える。あとは経費の問題で、財政的に可能か検討したい。

クリーンセンターについて

荒田議員

ごみ処理施設は延命化すれば20年程度、火葬場については耐用年数があると4年となっているが、何年度までに結論ができるか、具体的な話をお聞きしたい。

奥名町長

設備診断がなされ、それにより今後施設の長寿命化を図るための概算経費についてある程度資料をいただいているところであるが、御船町の考えを今年度中に示していただいて、来年中に方針決定をしたい。

本町としては、広域化を進めたいという考えに変わりはない。



農業問題について

荒田議員

農業者戸別所得補償制度について、今後の米作りに関し、国、また町等の支援がどのようになるかお尋ねしたい。

本田産業振興課長

本年度から農業者戸別所得補償制度が本格実施をされている。

国の制度であるので、農政の状況により若干違いが出てくるかとは思いますが、今のところは国の方が食料自給率を確保するというところで、現在41%の自給率を10年後には50%を目指したいということなので、当面はこの制度でいくのではないかと考えている。

TPPの参加表明もなされているので、今後さらなる農業制度改革が行われるかどうか、現時点では先が見えないような状況ともなっている。

荒田議員

新規で農業をされたい方に対し、本町での助成についてお尋ねしたい。

本田産業振興課長

新規就農者の支援については、町独自の支援は行っていない。

国の助成制度で、新規就農者定着促進事業というところで、補助率50%の事業と経営体を支援する経営体育成事業がある。

また、来年度から新たに新規就農する青年就農者に対して、国の方が最長で7年間の150万ずつ支援する制度もある。

荒田議員

現在、農業に従事されている平均年齢をお聞きしたい。

本田産業振興課長

2010年に行われた農林業センサスの数字であるが、20歳から29歳までが36人、30歳から39歳までが17人、40歳から49歳までが47人、50歳から59歳までが157人、60歳以上が1013人で全体の79.7%ということ

で、約8割方が60歳以上という状況になつていく。

荒田議員

農業従事者の高齢化が



高齢化が進む農業

進む中で、自給率等の問題、後継者の問題、農地を守るという問題について町長の考えをお聞きしたい。

奥名町長

非常に担い手が不足している状況であり、その中でも農地法が改正されて、逆に法の規制のほう

が厳しくなった状況である。

本町としても優良農地を有効活用できるような後継者、あるいは担い手の育成については、様々な国・県の制度事業等も活用しながら、町の方も一生懸命やっていくような基本的なスタンスでいきたい。

中村幸男 議員



広域行政の必要性について

中村議員

平成18年3月議会の質問の中で、「平成14年に広域連合広域計画の策定に着手し、統合シミュレーションと効果を研究した」、その中で「人件費3600万が削減される可能性がある」と答弁しておられるが、現在統合について検討はされているのか。

甲斐総務課長

平成22年、御船町甲佐町衛生施設組合と益城嘉島西原環境衛生施設組合及び御船地区衛生施設組合について、4つのパターンで調査した。人件費については削減

一 環境衛生課長
今後、協議の場を設けていきたい。

定住促進の今後の取り組み

中村議員

定住促進について、奥名町長就任以来ようやく効果が出ている。

今後、これまで通り定住促進を進めていかれるのか。

奥名町長

民間の活力を引き出しながら住宅開発支援をしていく基本的なスタンスは持っている。

今後、いろいろな工夫を重ねて住宅政策をさらに充実させていきたい。

中村議員

サンコーポラスについて、入居率は88・3%と上がっているが、5階の入居率が悪い。

5階の家賃の優遇は考えないのか。

奥名町長

4、5階については空き室があり100%目指すうえで何らかの策を講じなければと考えているが少し時間がほしい。

農振計画の見直しについて

中村議員

課長より今後の農振見直しの説明を受けたが、平成24年は一切見直しは受け付けないとのことであつたが県の指導があつたのか。

本田産業振興課長

甲佐町においては、平成24年から25年までに農業振興整備計画の見直しになつているが県の具体的な指導はない。

中村議員

企業誘致は白旗地区辺りでないと難しいと考えるが、ここでの農振の見直しはできないのか。

井上企画推進課長

白旗地区は農振地域に



見直される農振計画

かぶつてゐる。その規制の中では具体的な計画をつくるのは、企業からの話がないと難しい。

現在、城南地区辺りは熊本市になつて都市計画区域、市街化調整区域の指定がされるが、スマートインターチェンジの計画もあり、乙女台地の開発という点では可能性があるかと考えている。

中村議員

企業誘致、定住促進を進めるため、農振対策については県を説得してほしい。

奥名町長

平成24年9月の農振見直しの協議については、わが町の思いを煮詰めて町としての立場を示していきたい。

やな場の通年営業について

中村議員

「やな場の通年営業の研究」とマニフェストにあるが、どのような研究をされたのか。

甲斐総務課長

通年営業については具

通年営業が検討されるやな場



体的な研究はこれからと思つてゐる。平成24年度からは新しい契約に従つて進めていくが、プロポーサル方式で、業者の提案を受け、それに従つて調査、研究をしたい。

中村議員

通年営業により地元のレストラン、飲食店が落ち込むのではないかと。

奥名町長

やな場の改修にも取り組みつばな施設が出来上がつてゐる。

施設の有効活用をするうえで、契約者とも協議しながらよりよい観光拠点として町外・県外にもPRしていきたい。

福田謙一 議員



職員数の推移、居住の状況について

福田議員

甲佐町の人口、面積に對してどれぐらいの職員数が理想なのかお尋ねしたい。

甲斐総務課長

平成15年4月現在、147人で、行革等によりだんだん減り、平成23年4月では112人で、町民100人に1人というふうに感じている。

福田議員

職員数は退職者と採用者で調整されているが、現在の職員の居住地と採用者の町内出身、町外出身をお尋ねしたい。

甲斐総務課長

職員の居住地は、職員

数112人のうち、町内が81人、町外が31人である。

平成20年から平成24年までの採用職員については、全部で30人の採用で、うち町内が12人、町外が18人となっている。

なお、町外出身で、現在町内に住んでいる職員が5人いる。

福田議員

近年の採用職員数は、5年で30人、町外が18人で全体の6割になる。

10年後は、1年間で5人採用されたとしても10年で50人、その6割の30人が町外出身となり、現在、町外は31人で、合計60人位になり、半数以上が町外出身になる。

もし10年後、台風の場合には予測されるが、夜、東日本のような大地震が発生した場合どう対応するのかお尋ねする。

甲斐総務課長

職員は、住民の生命、財産を守る責任があり、地震の時、震度6弱は役

場に全員集合となっていない。

登庁できない場合は最寄りの避難場所や町の出先機関に参集し、責任者の指示を受ける。

病気、負傷その他参集不可能な場合は、所属の長に連絡する。参集途上、可能な限り情報を集める。交通機関が使えないときは歩いてでも来る、というふうを考えている。

※参考資料

近年の職員数の推移（※教育長を含む）

（単位：人）

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
人数	148	146	140	133	126	125	113	113	113

職員の居住地の状況（H23.12.1現在）

町内	81人	町外出身で、現在町内に居住	5人
町外	31人	町内出身で、現在町外に居住	14人

近年採用職員の内町内外の別

（単位：人）

年度	H20.4.1	H21.4.1	H22.4.1	H23.4.1	H24.4.1	計
町内	1	1	4	3	3	12
町外	2	3	4	5	4	18
合計	3	4	8	8	7	30

※H24.4.1は見込み

甲佐小体育館でのスポンジテニス



奥名町長

来年度以降の採用は、民間企業経験者の専門職の門戸を広げる思いを持っている。

「I・YOUスポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）」について

福田議員

設立から3年目ということ、現在の状況、そして甲佐町の人口に對してどれ位の正会員を目標にしておられるのか。

山内社会教育課長

現在、スポンジテニス、ラージボール卓球、ジュニアバレー、少年柔道、バドミントン、陸上競技の6種目で、近々サッカー教室も開く予定である。

そして、世代間交流が行われれば住民の交流の場となり、青少年の健全育成にもつながり、将来、医療費の削減や高齢者の生きがいづくりにつながる。

今後、より多くの正会員の参加を目標としている。

防犯灯LUNSN

福田議員

上早川3区の防犯灯が

LEDの照明で作物に影響があったと聞いているが、どのような影響があったのか。

また、今後の対策をどのように考えているのか。

古荘くらし安全推進室長 照明が当たる部分だけ稲穂が出てなく、スイッチを切つてからは発育状況に変化があり、通常通りではないが稲穂が出た。今後の対策として、照明の角度を変えて、直接稲穂に光が当たらないようにし、まず様子を見ていきたい。

※その他に、
・下横田町営住宅の建設について
・町営グラウンドの駐車場について

の質問があった。



上早川3区の防犯灯

西坂和洋 議員



災害対策について

西坂議員

火災・水難等発生時の指揮命令・対策本部はどこに置くのか。
古荘くらし安全推進室長 指揮命令系統は、その事案によって違う。
災害等の発生の場合



災害を迅速に伝える無線塔

は、救助機材や通信機材が集約されている役場内に設置する

火災の場合は、その現場が対策本部となる。

行方不明者捜索の場合には、警察や消防署との連絡協調及び消防団への情報伝達や指示等があるのでもくらし安全推進室に事務局を設けている。

西坂議員

行方不明者等の場合は、警察、消防、それから自衛隊などと緊密な横の連携を十分に取っていただきたい。

県道三本松甲佐線について

西坂議員

県道三本松甲佐線の危険箇所を把握しているか伺いたい。

西坂建設課長

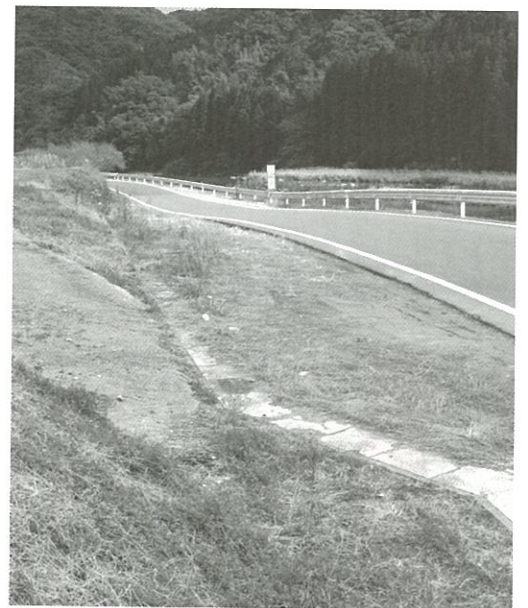
前回の議会でも指摘があったが、井戸江峡のつり橋の付近から先は急峻な地形であり、それから先については、ほとんどの所が危険箇所であると認識している。

また、危険箇所の解消のため、県の方には順次、毎年要望をしているが、本年度は、豊内バイパスと旧宮内小学校付近の改良について要望している。

それとは別に、災害防止ということ、川平キャンプ場の上・下流部分の工事を来年度実施予定であり、小鹿集落に上る町道付近についても現在工事中で本年度完了の予定である。

西坂議員

次に、数年前に国土交通省が上揚地内の河川堤防の工事をしたとき路面



未舗装箇所

舗装をしていない部分がある。

これは、県、国土交通省のどちらが舗装を行うのか。

また、どちらにおいても早急な舗装工事をお願いしたい。

西坂建設課長

ご指摘の場所は、国土交通省の施設になるが、県が県道三本松甲佐線として利用をしている。全面積を県が占有していれば県の方で、占有が道路部分だけなら国土交通省で行うことになる。

占有部分を調べて熊本県なり、国土交通省なりに要望したい。

税の徴収等について

西坂議員

その後の税の徴収はどうなっているのか。

伊豆野税務課長

引き続き平日の夜間窓口、また、日曜日等の窓口等を実施し、納税者の便宜を考えたり、併任徴収による滞納者宅の捜索、預貯金の差押え及び催告状などの送付を行っている。

成果として、11月現在の現年度の徴収率が、町民税で0・42%、国保税で0・41%、前年度よりも上回っている。

また、過年度分においては、町民税で約350

万円、国保税で約172万円、前年度より上回っている状況である。

西坂議員

この滞納の問題は、町民全員の方に関係することでもある。

甲佐町においては、行財政改革も必要であるが、まず、意識刷新改革を掲げていったほうが良いのではないかと考える。

町長の考えをお聞きしたい。

奥名町長

行革ばかりやっても、大事などころが改革できなければ何にもならない、という意味と受け止める。

滞納者に対し、担当課の方でも、例えば、納税相談などの中において意識を変えていただくような努力はしていると思うが、最終的に、その意味合いを滞納者に理解してもらおうことが大事であると考えるので、今後、いろんな機会をとらえて話していきたい。

井芹しま子 議員



内水被害調査による具体的対策は

井芹議員

甲佐町は、甲佐岳をはじめとする山々を背に中小の川が町の中心を流れる緑川に流れ下っている。このような地形の中で浸水対策や土砂災害、地滑り災害など自然災害



浸水対策が待たれる大井手川

に備えなければならぬ宿命を抱えている。

昨年は、防災対策の環境として内水被害調査が委託されその結果が出たが、その範囲及び調査から見えてきたものは。

西坂建設課長

大井手川、南谷川、湯田川、内田川、竜野川、馬門川の沿線及び田口地区について調査した。

調査は、平成19年と同程度の洪水が発生した場合、外水である緑川と中小河川の内水との影響を浸水シミュレーションにより行った。その結果、被害の範囲

や原因と想定されるものなどが明らかにされた。

また、その解消についての対策案も示されている。

井芹議員

結果をどう具体化するのか。その道筋は。

奥名町長

今後ハード面での事業化の可能性について検討していきたい。

しかし、長期の時間を要すると考えるので、併せて危険箇所や避難場所の避難経路などソフト面での対策も必要だと考えている。

井芹議員

平成19年度の洪水被害から4年以上が経過している。スピード感を持って検討すべきでは。

奥名町長

町としても早急な整備ができるよう努力していきたい。

住民健診の拡充を

井芹議員

甲佐町の一人当たりの医療費は県内でも高く、

平成21年は15番目となっている。

その原因と特徴的な傾向、課題をどうとらえているのか。

豊田住民生活課長

医療費の給付の高騰は、医療技術の進歩と生活習慣病の長期治療におよぶ医療費の増大がある。そのことは本町における国保財政圧迫の大きな原因となっている。

特に生活習慣病が基本疾患であるような疾病の状態が悪化して受診し、入院治療となり、住民自身の負担と保険者の負担増となつている。

このことから健診受診率の向上が課題と考える。

井芹議員

町民の健康を本気で守るといふ町の姿勢が何より大事だ。健診率を上げるためにも受けやすい内容、費用負担など見直しを進めるべきでは。

豊田住民生活課長

今年度は特定健診の実施回数、節目健診の対象

年齢等の見直しを行った。来年度についても健診内容を充実や保健指導の強化を検討している。

井芹議員

御船、益城などは、人間ドックは毎年実施されている。現在の5年刻みを短縮すべきでは。

また、対象年齢も74歳まで広げるべきだ。

豊田住民生活課長

今後、住民の意見も踏まえて検討していきたい。

滞納問題の解決は

井芹議員

国保の滞納は甲佐町に限らず、社会的な問題となっている。加入者の低所得化や保険料の負担増

など、払いたくても払えない状況を直視しなければならぬのではないかと。保険料の値上げの議論では益々滞納を増やすことになり、一般会計からの繰り入れで負担を減らすことが大事だ。

負担を減らすことが滞納を減らすことにつながるのではないかと。

奥名町長

町民の中には国保加入者以外の方もおられ、受益者負担の立場で、一般会計からの繰り入れには納得できない。

井芹議員

保育料については町長の子育て支援策の一つとして、低所得者を中心に軽減されてきているが、依然として滞納が増加している。

現在、保育料は所得階層を7段階に分けて徴収しているが、その中間層の滞納が増えているのではないかとと思われる。滞納を増やさないためには、中間層の階層をさらに増やすなど、より所得実態に合った保育料設定にすべきではないかと。

内山福祉課長

甲佐町では所得階層を7段階に設定しているが、他の自治体においてはもっと多い自治体もあり、本町においても独自の判断でできる。

しかし、本番のとき、しつかり大きな声でゆつくり言えていたと自分では思いました。そして、質問に答えてくれる役場の方々の真剣な返しにとっても驚きました。

ぼくは、実際の議場で行えた子ども議会に参加して、とても良かったと思います。



2年 山崎 大輔

初めて子ども議会をやって、とても緊張したけれども、質問したいことはできたから良かったと思う。だけど、再質問のときは、とても戸惑いました。

もし、来年また子ども議会に行くことになったら、次は再質問を何回もできるように考えときたいです。

子ども議会に行つてとてもためになったと思います。行つてよかったです。



2年 西坂 遥香

私は、初めて子ども議会に参加しました。

参加しての感想は、たくさん役場の方々の前で、自分やみんなの意見を甲佐中の代表として発表するのが、とても緊張したということです。

みんなが、順々に上手な発表をしていて、私の心はプレッシャーで押しつぶされそうでした。でも、私が質問したことを、役場の方は丁寧に分かりやすく教えてくれました。

私は、この子ども議会を通して、とても緊張したけど、人前で発表することは大切だし、私にとってもいい体験ができました。

私は、この体験を通して、今後の甲佐中学校の行事にも積極的に参加して、この体験を今後の活動につなげたいです。



2年 米原沙耶香

私は、今回が初めてで、とても緊張したけど、「甲佐町子ども議会」に参加してみても、いい経験ができ本当によかったと思いました。

私は、「高齢者の方たちのために、甲佐町が取り組んでいることは、どのようなことなのか。」について、質問しました。

答弁は、70歳以上の方に発信機が渡されており、安全センターにつながっているということでした。利用者は、74名と少し少なく感じたけど、プラスに考えてみると、その発信機で74名の一人暮らしの高齢者の役に立っていると考えれば、とてもすごいことだと思いました。

その他にも、他の人の答弁を聞いてみると、初めて知ることばかりで役に立ちました。その中でも、私が一番心に残っているのは、「東北

大震災支援」についてです。私がかつて知っている中では、被災地へ行かれたということだけでした。しかし、甲佐町はそれだけでなく、被災された方に、下着、靴下などの衣類が送られていました。それと、193万円もの寄附がされており、私の知らないところでも甲佐町での支援はされていることが分かりました。

このように、初めて知ることがばかりで、参加して本当によかったと思いました。

私たちが質問したことを参考にしてもらい、実施されることがあればうれしいです。ありがとうございました。



2年 喜讀 太一

この前は議会を開いていただき、本当にありがとうございます。この前の議会は、かなり緊張したけど楽しかったです。

僕は、町の歩道と歩道の凸凹の整備について質問しました。僕が今まで疑問に思っていたことや困っていたことが、この議会で聞くことができてよかったです。そして、答えてくださる方が詳しく説明してくださったのでよく分かりました。

この前の議会は、いい思い出になったと思います。もし来年、また子ども議会に参加することがあったら、分かりやすく質問し、またさらに質問し楽しいと思えるように頑張りたいと思います。

この前は本当にありがとうございました。



3年 永田 美智

今年の子ども議会は、私にとって2回目の参加でした。

2年目の参加ということもあって、自分の目標を「去年よりおもしろく、去年よりも充実した子ども議会にする」に、しました。

去年の子ども議会は一問一答ですぐ終わっていたので、今年は、原稿を詳しく書くことを頑張りました。テスト勉強と子ども議会の準備を平行して行うことが一番大変でした。

本番は、みんな緊張していたけど、再質問をみんなすることができて、実のある質疑応答となったと思います。町執行部の方たちは、中学生に分かりやすく、詳しく答弁してくださったので分かりやすかったです。

自分自身も、再質問、再々質問をすることができ、目標を達成することができました。私は、今回の子ども議会で、人前ではきはき話せるようになりました。

子ども議会で得たものを、学校のみんなにも発信していきたいです。ありがとうございます。



3年 東 貴子

私は、今回の子ども議会に参加できてとてもよかったです。

生徒会に入っていますが、大人の方と議会をすることは、学校では体験できないことなので、いい経験ができました。

質問をその場で考えることは難しかったです。役場の方の答弁に、再度質問することもできてよかったです。役場の方々、ありがとうございました。

また、甲佐のことが少し詳しくなりました。甲佐町のマニフェストは、今まで気にしたことがありませんでした。しかし、今回の子ども議会でマニフェストを知ることができました。私たちのために、甲佐町をよくしようとしている人たちがいることを忘れないようにしたいと思います。

私も、もつと甲佐町がいい町になればいいと思います。



3年 児成 憲佑

今回、甲佐町子ども議会というめったにできない経験ができ、とても良かったです。僕は、田口橋について質問しました。町長さんからの答弁で、熊本

県が管理しているため、町ではできないという結果でした。それに4〜5億円かかるということも聞き、とてもびっくりしました。友達の質問の答弁で、歩道を広くできないかとか、防犯カメラの設置など、いろんな答弁を聞いてとても勉強になりました。

町の予算、計画を実行できるまでにかかる時間など、社会の授業で習えないところまで聞いてとても良かったです。

質問するとき、とても緊張しました。普段にない緊張感で、頭の中が真っ白になったけど、心を落ち着かせて発表することができました。質問したあとの再質問のとき、何を言っているかわからず戸惑ったけど、ちゃんとできて良かったです。その後、再々質問までできて、とても良い経験になりました。ありがとうございました。



3年 米田昇太郎

今回の子ども議会は、とてもいい経験になりました。役場の皆さんと討論する機会が持て、自分の意見を言えてとてもうれしかったです。そして、役場の皆さんを改めてすごいと感じることができました。

僕たちの質問に対して、とても詳しく説明していただき、再質問に対しても、すぐに、それも詳しく説明していただいて、とてもびっくりしました。そして、今後の甲佐町の進歩につながっていくのではないかと思います。

僕は、来年卒業しますが、今回の経験で得たことを伝えることができます。毎年、甲佐中の生徒総会には意味があるのかどうか、思っていました。役場の方の説明の仕方を聞いて、来年の生徒総会は、僕たちが後輩にこのことを伝えれば、とてもやりがいがあるものになると思います。

僕は、生徒会としての仕事は、あと数カ月になりましたが、今回の体験で得たものは、とてつもなく大きなものとなりました。今後に活かすことができると思うので、今回の体験で学んだことを活かして頑張っていきたいです。高校生活や学習面でも活かしていきたいと思います。

今回は貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。ありがとうございました。



3年 坂本 涼

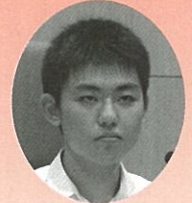
子ども議会を終えて、もつと甲佐町がよくなればいいなと思いました。生徒が大人の方々に質問して丁寧に答えてくださったことは、本当にうれしかったですし、もつと甲佐町はよくなると思いました。

僕は、中国について質問しました。順番が来るまでもとても緊張していました。発表するとき心がけたことは、礼とメモをとることに気をつけました。礼は結構できたのでよかったです。でも、メモを取ることがあまりできませんでした。

再質問で同じようなことを言ってしまうと緊張して頭が回らず、そういうことになってしまいました。まだ、自分には、人の前に出て話すことが慣れていないんだと改めて思いました。

執行部をやめるまでに堂々と発表でき、緊張しないように頑張りたいと思います。

このような経験をさせていただきありがとうございました。



3年 蘭田 征樹

甲佐町子ども議会を終えて、甲佐町の議会に参加できたのはとても良い経験であり、とても光栄です。

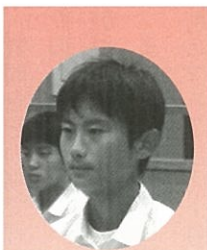
議会では、議長という役割で、先日、学校で行われた議会でも議長をやり、同じような調子でやればよいものだと少しは思っていました。しかし、本物の議会は、想像をはるかに超えたものでした。

リハーサルではカミカミでしたが、本番ではちゃんと台本どおりに進行することができました。

議会はとても面白かったです。また、教育長のお話はとても分かりやすく、参考になりました。

去年は参加できなかったけど、今年は参加できてよかったです。将来また、議会に参加することがあったら、今回の経験を生かして頑張りたいです。

次は、議会に議員として参加したいです。



3年 梅本 龍太

本番が始まるまでは、ちゃんと進行できるかとても不安だったけど、なんとか副議長を最後までやり遂げることができてよかったです。

今回の子ども議会で、町の行政や計画などを知ることができてよかったし、自分が住んでいるこの甲

佐町について、いろいろと知る機会を与えてもらって、町の執行部の方々に感謝しなければいけないと思います。

この子ども議会での体験を生かして高校受験などに向けて頑張っていきたいと思います。

去年と今年、2回も子ども議会に参加することができて楽しかったし、とても勉強になりました。



議員行政視察研修報告

本町議会では、11月21日から23日までの2泊3日の日程で、本町の自然災害対策に生かすため、宮城県石巻市近辺の東日本大震災における地震と津波被害の現状を、また、ごみ焼却場等の今後の取組みの参考とするため、同県仙台市の一般廃棄物処理施設「葛岡工場」の行政視察研修を実施しました。



て、石巻市近辺の視察を行いました。仙台空港に降りたあと、バスにより石巻市方面へ移動しましたが、まず、最初の光景に驚くとともに、その後も目を疑うような悲惨な光景がずっと続きました。

バスの乗務員の説明により、家屋の建っていた形跡はあるものの、実際に津波で流されて跡形もない光景が海岸沿いから内陸部へ数百m、また、ガレキとなった車や廃棄物が野積みされていたり、津波で打ち上げられ放置されたままの漁船も散見するなど、それが石巻市へ着くまで、そして、そのあとにも続く状態であり、テレビ報道による予備知識は当然ありましたが、間近に見る光景は、それをはるかに凌ぐもので、あ然とするばかりでした。

被災者の方々の仮設住宅も、冬に向けての寒さ対策は行われるものの、やや心配するところもあり、震災から8ヶ月後の現在においても、まだ一部の復旧しかできていない状況に心が痛む思いでした。

復旧のための支援については、本町も義援金、あるいは職員の派遣による人的支援なども行っていますが、一日

も早い復興を念願するところで

また、このような大きな災害も含め、様々な災害については、本町においても想定しておおく必要があり、その対策については議会としても自ら考え、協力をしていかなければならないと改めて感じたところです。

二箇所目は、ごみ処理の問題で仙台市の一般廃棄物処理施設「葛岡工場」を視察しました。工場長をはじめ、担当者から施設の概要等について懇切丁寧な説明がありました。

この工場は、平成7年に約327億円をかけ建設されたもので、関連施設として、粗大ごみ処理施設、資源化センター、リサイクルプラザ、温水プールなどがある施設です。

延床面積は24、534㎡で、1日300tを処理する炉が2基設置され、最大で1日600tの処理能力があり、自動化システムや公害防止対策をはじめ、ごみ燃焼熱を利用した発電施設による電力は、工場及び関連施設で利用され、余剰分は売電されています。

なお、現在は落ち着いていますが、



震災直後は、通常の約6倍程度の残業を必要とする多くのごみの搬入があったということでした。

本町においても、このごみ処理の問題については、国や県の方針を踏まえたところで御船町との協議を行っていますが、今後の適切な方について検討する中で、より広域的な枠組みでの大型規模のごみ処理施設建設についても視野に入れる必要があり、今回の視察については、規模こそ若干の違いはありますが、今後の進め方について大変参考になる研修でした。

平成23年第4回臨時議会

平成23年11月25日に、臨時議会を開催した。

●甲佐町一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正
賛成多数で可決

●町長等の給料及び旅費に関する条例等の一部改正
全会一致で可決

平成24年第1回臨時議会

平成24年1月12日に、臨時議会を開催した。

●財産の取得について

甲佐中学校の備品の取得について、全会一致で可決した。

一 取得する財産の表示

- ア 設置場所 甲佐町大字中横田300番地
甲佐中学校新校舎
- イ 種類等 会議テーブル・ミーティング
チェア・ミーティングテーブル
ほか

二 取得の価格 13,225,590円

三 契約の相手方
上益城郡甲佐町大字白旗2182番地
株式会社・ナインティーン 甲佐支店
甲佐支店長 高崎 徹

●平成23年度甲佐町一般会計補正予算(第5号)
2809万3000円を増額し、歳入歳出予

算の総額を6億8988万4000円とする補正予算を全会一致で可決した。

主な内容として、

- ・災害用井戸さく井工事費 ほか関連費
2809万3000円

鹿児島県湧水町議会からの視察研修

平成23年11月8日に、鹿児島県湧水町議会から行政視察研修のため来町された。

6人の議員で構成する「総務常任委員会」によるもので、本町での研修内容は次のとおり。

●行政サービスの改善について

- ・窓口業務の365日化導入の背景について
- ・導入における現状と課題について
- ・導入に伴う税収等の推移について

本町からは、本田議長、本郷総務文教常任委員長、師富副町長及び担当部署の職員が対応した。

内容説明のあと、湧水町議会の議員から、「導入後の職員の勤務体制、職員研修、利用者からの意見は」などの質問もあり、活発な意見交換が行われた。



今年も健康を願って！ (1/9東寒野どんどや)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、3月11日の東日本大震災をはじめ、その他の自然災害にさいな

まれ、国の危機と見える出来事や円高、ヨーロッパ発の不況など経済面でも厳しい年でした。

それらのことが、我が町にどのような形で影響

を及ぼしてくるか、本当に心配されます。

議会だよりは、町の状況を、議会議員の活動状況を詳しく広報していきますので、今年もご愛読いただきますようお願いいたします。

- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 本郷 昭宣
 - 副委員長 井芹しま子
 - 委員 西坂 和洋
 - 委員 福田 謙二
 - 委員 荒田 博